

《巻頭特集》訪日レンタカーの貸出実績とドライブルート紹介

◆訪日レンタカー貸出実績

図1:訪日レンタカー年別累計貸出実績 (台数)

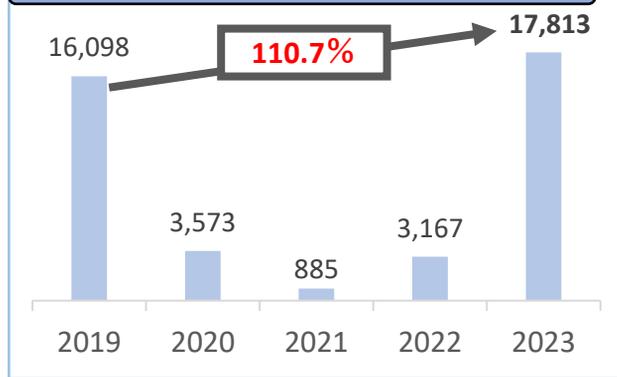


図2:2019年・2023年県別貸出実績 (台数)

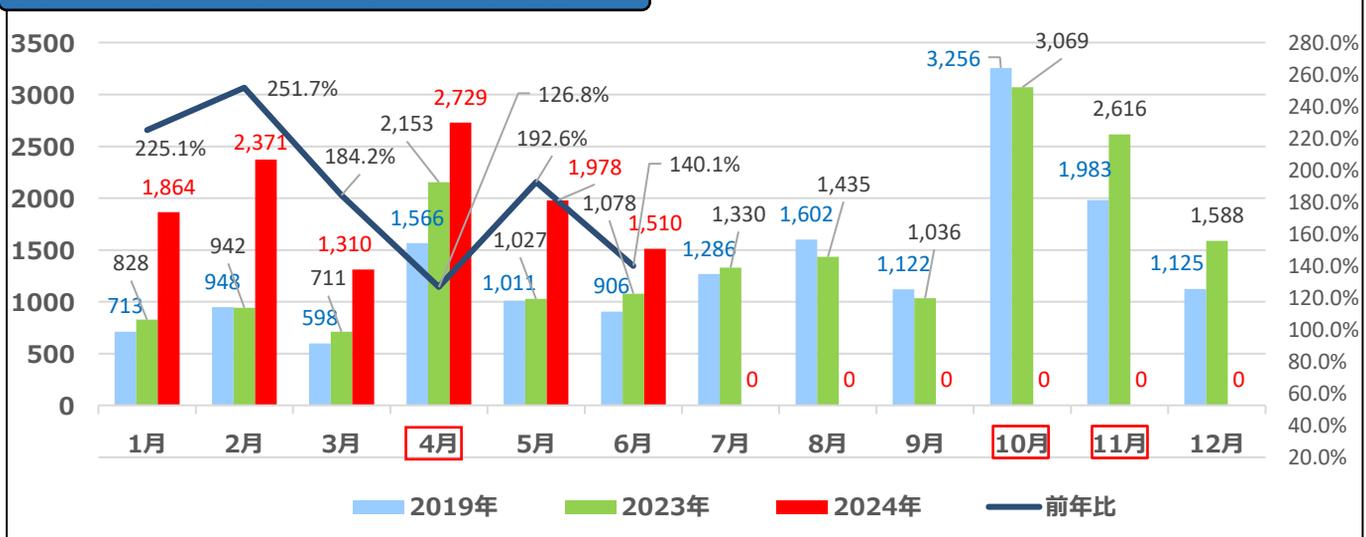


東北観光推進機構では2019年より東北地方の主要レンタカー会社から訪日観光客へ貸し出しを行った台数について取りまとめを行っています。

2019年から2023年の年別累計貸出実績については図1の通りです。新型コロナウイルスが流行した2020年から2022年は低調でありましたが、新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられた2023年からは貸出実績は好調で、2019年比で見ると110.7%で推移しています。これは東北においては公共交通機関が脆弱なエリアが広域にあり、レンタカーを用いた観光ニーズの高まりも背景にあります。

県別での貸出実績については図2の通りです。宮城県と青森県が他4県と比較して突出して貸出の実績が多く、宮城県を拠点として東北地方を周遊するルート、および青森県でレンタカーを借りて日本列島を南下するルートは東北での定番ドライブルートになっていると考えられます。

図3:2019年・2023年・2024月別貸出実績 (台数)



月別貸出実績については図3の通りです。比較各年の傾向を見ると、紅葉シーズン（10～11月）の貸出実績が最も多く、次いで桜シーズン（4月）が多くなっています。2023年のウィンターシーズン（1～3月と12月）は、桜（4月）・紅葉（10～11月）シーズンと比較すると、月間平均実績が少ないものの、2024年に入ると傾向に変化が現れ、ウィンターシーズン（1～3月）は各月とも前年比 約200%超の伸長率を記録しています。

2023年のグリーンシーズン（5～9月）は、同年の桜・紅葉シーズンに比べると苦戦していますが、2024年の出足の傾向を取り込めれば、伸ばせる余地があると考えています。グリーンシーズンは道路状況も良く、ドライブで東北を巡るには絶好の季節です。今後はグリーンシーズンの目玉となる観光資源のPR、高付加価値コンテンツの造成を強化し、実績が落ち込む時期のドライブ需要を増やせるよう取り組んでまいります。

◆ドライブルート紹介

もう一つの日本 Tohoku 探訪ドライブルート

～Tohokuの四季・歴史を探訪する旅へ～

東北の魅力は、何といっても美しく雄大な自然の絶景。
ドライブなら時間に縛られず、見たい景色、訪ねたい場所を存分に満喫できます。
四季・歴史、多彩な魅力を堪能できる、ドライブルートをご紹介します。
あなたが行ってみたいのはどのコース？



- Route 01** ▶ Page.03
Tohokuサムライ文化とお城ルート
- Route 02** ▶ Page.04
Tohoku三陸海岸とマリアドベンチャールート
- Route 03** ▶ Page.05
Tohoku街めぐりと癒しの秋田犬ルート
- Route 04** ▶ Page.06
Tohoku四季の絶景ドライブルート
- Route 05** ▶ Page.06
Tohoku信仰文化と世界自然遺産ルート
- Route 06** ▶ Page.07
Tohoku夕日と海岸線ドライブルート
- Route 07** ▶ Page.07
Tohoku伝統の職人技と歴史ルート

ルートの詳細については
下記のQRコードから！



【Route01:TOHOKUサムライ文化とお城ルート】



- サムライシティと呼ばれる会津若松や仙台城址をはじめ、白石城での甲冑体験や昔の街並みを残す「大内宿」など、東北のサムライ文化を訪れるルートです。

【Route02:三陸海岸とマリアドベンチャールート】



- 美しいリアス海岸を巡りながらマリアドベンチャーを楽しむルートです。遊覧船や漁師の船でのクルージングなど、水辺のアドベンチャーが楽しめます。

【Route03:街めぐりと癒しの秋田犬ルート】



- ノスタルジックな情緒漂う建築やサムライのお屋敷が残る東北の街を巡るコースです。それぞれの街は異なる雰囲気溢れ、街歩きも楽しみの一つです。

【Route04:四季の絶景ドライブルート】



- 春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色など、東北ならではの四季折々に姿を変える絶景に出会えるルートです。

【Route05:信仰文化と世界自然遺産ルート】



- 東北には自然にまつわる民間信仰が多数存在しています。古くから形を変えて息づく東北の民間信仰の奥深さを感じられるルートです。

【Route6:夕日と海岸線ドライブルート】



- 秋田から山形を通して新潟まで、日本海沿いに南下するルートです。温泉に浸かりながら日本海に沈む夕陽を眺める贅沢なひとときが待っています。

【Route7:伝統の職人技と歴史ルート】



- 東北や新潟の歴史や伝統的な職人技に触れるコースです。東北や新潟のものづくりを体験できるほか、宮城県の松島など風光明媚な景色も堪能できます。

TOHOKU Fan Clubで地域のイベント情報やアンケートを発信してみませんか？

国内外に約29,000人のファンを擁するTOHOKU Fan Clubを利用して、地域のイベント・観光情報やアンケートを発信してみませんか？

TOHOKU Fan Clubは国内はもちろん、**東北の重要マーケットである台湾（約1,600名）やタイ（約1,200名）にも多くのファンを抱えています。**国内外のファンへ向けた地域の魅力やイベントの情報発信に加え、ターゲットを絞ったアンケート（年齢、性別、居住地等）を組み合わせることで、効率的な観光DXマーケティングが可能です。地域誘客のツールとして、是非、TOHOKU Fan Clubをご利用ください。



	① 投稿	② アンケート	③ オファー
区分	ファンへの情報発信	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ作成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料	10問まで 15万円 + ポイント原資 30問まで 35万円 + ポイント原資	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料



【台湾ファン向け 投稿】
「Tohoku探訪ドライブルート
~Tohoku街めぐりと癒しの秋
田犬ルート~」

7月の活動

◆会議等

・7/19~7/20 広域行政観光推進会議

山形県天童市のほほえみの湯 滝の湯（天童温泉）にて、東北6県、新潟県、仙台市の観光担当部局長、他の皆さまと会議を開催し、東観推の「2024年度 主な取組み状況」や「2025年度に向けた取組み（案）について」などについて意見交換を行いました。

翌日は株DMC天童温泉の取組みをご紹介いただいた後、インバウンド需要が旺盛な「銀山温泉」の視察を行いました。



【会議の様子】



【銀山温泉視察の様子】

・7/5 第1回広域連携DMO政策研究会

全国10か所の広域連携DMOが主体となり実施する広域連携DMO政策研究会が観光庁内会議室にてはじめて開催され、紺野理事長と渡辺本部長が参加しました。

当日は観光庁長崎観光地域振興部長、JNTO出口理事にもオブザーバー参加いただき、各DMOが取組む事業内容の共有や広域連携DMO共通の課題等について活発に議論が交わされました。

地方誘客の促進、地域のプロモーションにおいて広域連携DMOが果たす役割、各DMOとの連携の重要性等を改めて確認する会議となりました。



【会議の様子】

7/12～ 東北域内DMO訪問

東北広域での連携や課題について、より議論を進めることで東北全体の観光誘客を活性化させることを目的としたDMO訪問を今年度も開始しました。東観推の事業説明の他、地域の現状や取組内容、課題等について意見交換を行いながら、いただいたご意見等を今後の活動に反映させ、世界から選ばれる持続可能な観光地「TOHOKU」を目指してまいります。

DMO訪問は9月末までの実施を計画しています。



【訪問の様子】

東北観光DMP操作研修会（7/2 仙台・7/12 山形・7/17 福島）

仙台市・山形県・福島県からの要望を受け、新任の担当者や県内のDMO職員を対象とした東北観光DMPの操作研修会を実施しました。

当日は有償データ（海外・国内動態、海外・国内消費購買）を中心に各県内の地域をモデル的に取り上げながら、主要な各ダッシュボードについて実践形式で演習を行いました。

今後も東北観光DMPを活用したマーケティングの展開に向けて、研修などのフォローアップを継続してまいります。



7/2仙台市



7/12山形県



7/17福島県

7/23 東北運輸局との意見交換

東観推では、東北全体の観光をつかさどる国土交通省東北運輸局の局長、観光部の幹部と年2回意見交換会を開催しています。

今年は7月1日に東北運輸局長が交代されたこともあり、7月23日に東観推が東北六県等と一体となって実施している独自の取組み、補助金を活かした取組みなどを説明しました。東北運輸局からは、観光庁・東北運輸局が行っている観光施策等について説明がありました。その後、東北の認知度をどのように上げていくか活発な意見交換が行われました。



【意見交換会の様子】

◆インバウンド

7/8～7/16 「Japan Expo Paris」に出展

フランスパリで開催された日本文化をテーマにした大規模なイベント「Japan Expo Paris 2024」へ、東日本旅客鉄道(株)パリ事務所と共同出展し、一般消費者向けに東北の認知度向上・興味喚起のプロモーションを行いました。

JRパス+観光コンテンツの具体的な広域周遊プランを案内することで、より具体的なイメージを掴んでいただくことができました。

来場者の多くは日本文化愛好者ということで、東北を知っている、東北に行ったことがある、という人が複数いらっしゃいました。東北のことを知らない方からも「2年後に日本へ行くのでどの季節がオススメか教えて欲しい」「伝統工芸について学べる場所はどこか」等の具体的な質問や「東北を全く知らないの概要を教えて欲しい」と興味を持ってブースを訪問される方が多数おり、訪日関心層へ効果的にPRする良い機会となりました。



【ブースの様子】



【会場の雰囲気】

7/17 グレーターベイ航空 仙台=香港（プログラムチャーター）就航式典

仙台国際空港と香港を結ぶグレーターベイ航空のチャーター便が就航し記念セレモニーが開催されました。

チャーター便は、7月から8月にかけて計6往復便の運航が予定されています。

セレモニー後、初便にて来訪した約130人の乗客をお出迎えし、到着ロビーは大変賑わいました。



【式典の様子】

◆教育旅行

●7/9 札幌市内で「東北教育旅行セミナー」を開催（JR北海道 共催）

ホテルモントレエーデルホフ札幌にて「東北教育旅行セミナー」を開催し、道内の旅行会社や学校関係者、東北側事業者ら約130名の皆様にご参加いただきました。

第1部では、東観推や東北6県、JR東日本、JR北海道より東北教育旅行の魅力をプレゼンテーションしたほか、第2部では東北側事業者と道内の旅行会社との商談会、学校関係者と各県の担当者等との個別相談会を実施しました。



【セミナーの様子】

●7/18 東京都内で「東北教育旅行セミナー」を開催（JR東日本 共催）

品川プリンスホテルにて「東北教育旅行セミナー」を開催し、首都圏の旅行会社や学校関係者、東北側事業者・自治体関係者ら約150名の皆様にご参加いただきました。

第1部では札幌会場と同様に東観推や東北6県・新潟県より東北の魅力をプレゼンテーションしたほか、JR東日本からは「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」の取組みについて発表しました。第2部は活気あふれる商談会となり、参加者からは「ぜひ東北の修学旅行を実現したい」といった感想が寄せられました。



【商談会の様子】

●7/23 全国修学旅行研究大会に参加

学士会館（東京）で開催された全国修学旅行研究大会に参加しました。主催の全国修学旅行研究協会から近年の教育旅行の動向について発表があったほか、シンポジウムでは物価高やオーバーツーリズムが修学旅行に与える影響や方面変更の必要性など、これからの修学旅行について議論が交わされました。学校関係者や旅行会社ら約120名が来場された中、東観推ではブースを出展し、東北教育旅行のPRを行いました。



【研究大会の様子】

◆招請事業

●6/28～7/2 タイ旅行会社招請（グリーンシーズン）

タイ人観光客が増加する中、伸びしろが大きいグリーンシーズンの商品造成促進や課題抽出のため、タイ旅行会社4社4名を招請し、紫陽花の咲く雲昌寺や蔵王の御釜、五色沼など、この季節ならではの東北の魅力を視察しました。タイ現地では、夏の日本への旅行は涼しい北海道へ、という印象が根付いている中、招請者からは「東北は北海道よりも涼しい場所もあり驚いた。この時期にしかみられない魅力的なコンテンツも多数ある」とのコメントがあり、今後のグリーンシーズンの旅行商品造成に向けて手応えを感じる招請事業となりました。



【五色沼の視察】

●6/30～7/6 イギリスの旅行誌「ロードスターズ アンソロジー」の取材招請

JR東日本ロンドン事務所の協力のもと、世界的な旅行誌「ロードスターズ アンソロジー」の編集長・記者を招請し、東北6県を取材いただきました。各県の体験型コンテンツ、ならびにイギリス中所得者層に関心の高い、伝統文化体験、そのほかローカルフード、酒蔵訪問などの食体験を通じて、地域色豊かな食文化を体感いただきました。

現在、旅マエの情報収集はインターネットやSNSが主流ですが、イギリスをはじめヨーロッパは旅行誌も上位に入る人気の媒体です。

この秋に「ロードスターズ アンソロジー日本特集号」が発売され、本取材内容も掲載される予定です。

今後もマーケット特性を見極めたきめ細かいアプローチを行いながら、ヨーロッパマーケットのラグジュアリー層を取り込んでまいります。



【なまはげ取材時の様子】

◆人材育成

●7/26 第九期フェニックス塾 第2回（角館）を開催

東観推では人材育成の取組みとして東北の観光を担う若手の育成を目的とした「フェニックス塾」を開催しており、今年度は第九期生を迎えて6月よりスタートしています。第2回を秋田県仙北市の仙北市角館交流センターで開催し、40名の塾生が参加しました。第一部セミナーでは、講師の東北運輸局長川崎博氏より「東北観光の現状と未来」をテーマに様々な統計を用いて、国内全体から見たこれからの東北観光振興にむけての貴重なお話をいただきました。第二部ワークショップでは東北観光の「現状・課題の洗い出し」について、次回へ繋がる活発な意見が交わされていました。



【川崎東北運輸局長によるセミナー】

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩楽GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【三淵渓谷カヌーツアー】



【蔵王温泉大露天風呂】



【柳津虚空蔵尊】

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関係する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいたものの中から、素敵な投稿をリポストさせていただきます。(リポスト前にはメッセージで許諾を取らせていただきます)

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook(旅東北 東北観光推進機構)の両方で投稿します。

●フェニックスロゴマークをぜひご活用ください

国内外における訪日外国人旅行者誘致のイベント等で活用することを目的に、関係者が連携して、東北全体が共通してプロモーションに活用できる統一ロゴ・マークを作成し、幅広く活用いただいております。こちらからダウンロードいただけますので、ぜひ東北観光の認知度向上と海外への魅力発信にご活用ください。

<https://www.tohokukanko.jp/business/logo/index.html>

東北の太古の昔より生き続ける力強い生命力や震災を乗り越えて大きく飛躍するメッセージを伝える象徴として、フェニックス(不死鳥)をモチーフに使用。東北6県及び新潟県を象徴する自然等のイメージを関連づけ、フェニックスの尾を7色で表現しています。

赤 — 祭り・紅葉 白 — 雪・食(米・酒) 黄 — 黄金(歴史)・稲穂 桃 — 桜・おもてなし(ハート)
 青 — 海・森・湖 橙 — 温泉・花・夕日 緑 — 新緑・田園



【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階 【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp
 【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

